

採用の流れ

採用窓口

職業安定局総務課人事給与係 **03-5253-1111 (内線:5714)**

採用実績

入省年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度
人数	4人(2人)	6人(4人)	4人(1人)	4人(2人)	4人(2人)	5人(2人)

<注:()内は女性の内数。令和2年度は内定者数。>

採用スケジュール

▶ 令和3年度採用予定者を対象とした、業務説明会や採用手続きのスケジュールは、人事院の「[国家公務員試験採用情報NAVI](https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html)」(<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>)や、厚生労働省ホームページ(https://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/kokka1/ningen_kagaku.html)に掲載されますのでご覧ください。

▶ 試験申込日以前の人事院主催の業務説明会等の予定は以下のとおりです。

「総合職中央省庁セミナー」 令和2年3月4日(水)～令和2年3月14日(土)に各地で開催。

「霞ヶ関OPENゼミ」 令和2年3月2日(月)・3日(火)のいずれかに開催。

▶ 前回(令和2年度入省者対象)の実績は以下のとおりです。

平成31年 3月29日(金)	4月8日(月)	4月28日(日)	令和元年 5月14日(火)	6月23日(日)	5月26日(日)	5月28日(火)	6月14日(金)	6月25日(火)	6月26日(水)	7月9日(火)	10月1日(火)
試験申込期間	第1次試験	本府省合同業務説明会	第2次試験(筆記)	第2次試験(人物)	最終合格発表	官庁訪問	内々定	内定			

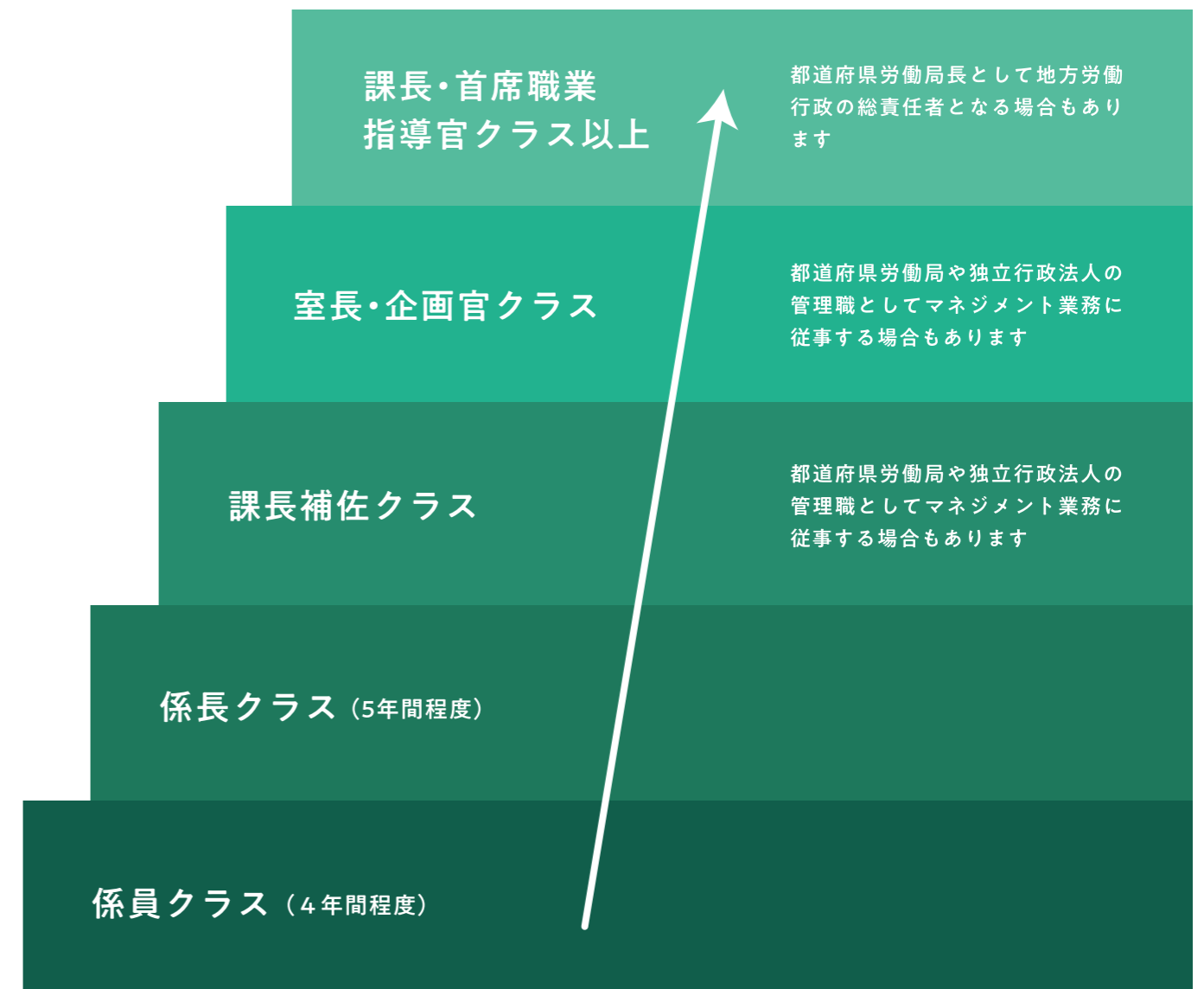
キャリアパス (人間科学職に求められること)

厚生労働省は福祉・医療・雇用などの面から「人」の一生に関わる仕事を担当していますが、人間科学職は中でも特に人が人生の時間の多くを費やすことになる「職業」をめぐって、専門的に追求していく仕事を担っています。課題を抱えた個々の人間に対して直接向き合っ一つ一つ解決していく個別支援の手法もありますが、むしろ人間科学職には、公共政策を企画立案したり、さまざまな部署や関係者との調整を行ったり、現場の業務に対する指導を通じてこれを実現していくことが求められます。

個別支援の手法を理解したうえで、さまざまな事業・業務・制度・助成金・補助金などの仕組みを創設・改善したり、関係団体などとの連携の体制を構築したり、事業主や国民に対する指導・啓発を進めたり、あるいは現場で用いられる診断・評価・相談・カウンセリング・指導などの手法を開発してさまざまな技法・ツール・マニュアル・データベースなどを構築したり、現場の相談機能がうまく

ワークするよう効果的な指導を行ったり、組織マネジメントの方法を検討したりすることなどを通じて、それを成し遂げていくことが求められているのです。

このため人間科学職には、まずは「総合職」としての企画立案の能力、調整の能力、指導能力などが求められます。さらにこれを突き詰めていくと、積極性、理解力、説明力、論理構成力、リーダーシップ、コミュニケーション能力などが求められることとなります。



(注:この図は一例であり、本人の能力・適正、勤務成績、希望などにより異なります。)